

環境経営レポート (2024年度)

対象期間: 2023年10月01日～2024年09月30日



2025年4月1日発行

日本インベスト株式会社



KAWASAKI
SDGs 

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

目次

1	環境経営方針	P.1
2	事業所の概要	P.2
3	日本インベスト株式会社組織図	P.3
4	実施体制と役割分担表	P.4
5	中期環境目標	P.5
6	主な環境活動計画の内容	P.6
7	環境目標と実績及び取組結果とその評価	P.7
8	環境関連法規等取りまとめ表兼遵守点検表	P.8
9	代表者による見直し	P.9
10	SDGsへの取り組み	P.10

1. 環境経営方針

当社は、永年の非鉄金属・レアメタルの加工・供給経験を活かし「人と環境にクリーンで安全なものづくり」を推進し、地球環境の保全に努め次の世代に豊かな地球を引き継ぐことを目指します。

更に、日々の企業活動において各種の環境負荷を発生させないように配慮するとともに、地球環境問題の改善に役立つ製品、サービスの販売を促進します。

1.省資源・省エネルギーの促進

- ・電力消費量の削減に努めます。
- ・化石燃料の削減(ガソリン等)に努めます。
- ・水使用量の削減に努めます。

2.廃棄物の削減、リサイクルの促進

地球資源を大切にしてお廃棄物の発生をできるだけ減少させ、発生した廃棄物は可能な限りリサイクルします。

3.グリーン調達

物品・サービスの調達にあたっては、地球環境問題に配慮して実施する。

4.環境関連諸法規等の遵守

事業活動に関連する環境法規制や当社が同意する要求事項を遵守します。

5.環境経営方針の周知と徹底

この環境経営方針は全従業員に周知徹底し、環境保全に対する意識向上に努め全従業員をあげて環境管理を推進します。

6.環境経営の継続的改善

環境経営の継続的改善を推進します。

制定：2009年2月1日
改訂：2011年10月3日
改訂：2021年5月7日
日本インベスト株式会社
代表取締役 中川 悦子

2. 事業所の概要

(1)事業所名 日本インベスト株式会社
(2)代表者名 中川 悦子
(3)所在地 東京都大田区南久が原2丁目30番28号
(4)事業内容 レアメタル・非鉄金属の材料販売
液晶及び半導体関連設備の精密部品加工
難削材の機械加工
非鉄金属の機械加工

(5)事業規模

・資本金 5000万円
・従業員 5名

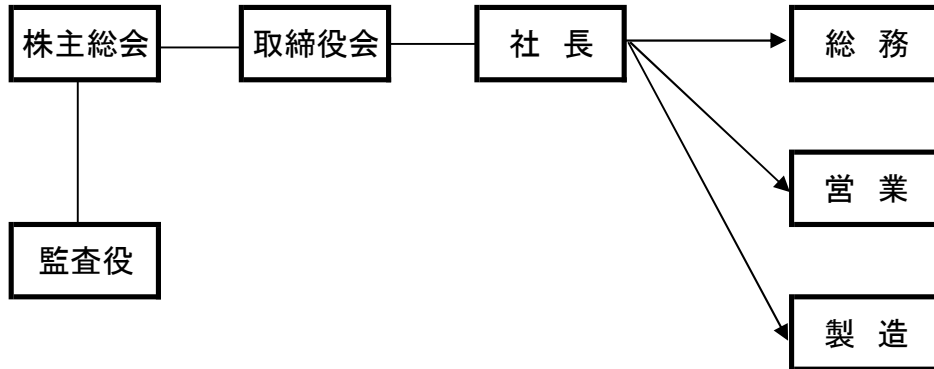
(6)認証登録範囲 全社全事業が対象

(7)管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理者 中川 悦子
担当者連絡先 鈴木 裕太
電話 03-3759-2220
FAX 03-3759-1711
e-mail y.suzuki@jic-tokyo.co.jp

日本インベスト 株式会社 組織図

2024年9月30日現在

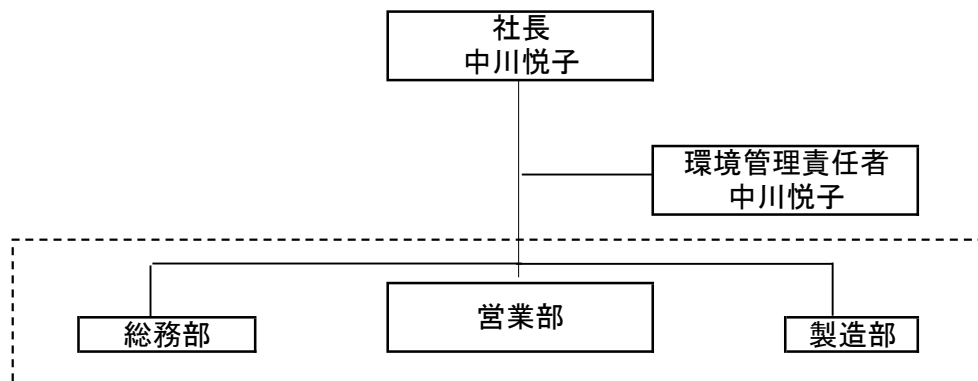


環境管理責任者 : 中川 悦子

事務局 : 鈴木 裕太

顧客対応責任者 : 営業部長

実施体制と役割分担表



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針を策定する ・実施体制を構築する ・EA21の実行に必要な資源(人、物、金)を用意する ・環境管理責任者を任命する ・EA21の全体的な取り組み状況を評価し、見直し必要な指示を与える。 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システム要求事項を確立し、実施し、維持することを確実にする。 ・環境経営システムの構築・運用状況を社長に報告する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、活動計画の実施 ・環境に関する責任あるやり方で業務の実施 ・問題があった場合、部門責任者へ報告

日本インベスト株式会社

5.中期環境目標

2023年度以降は2022年度実績を基準として新3年計画を策定した。
 (期間 2022年度～2025年度) 作成2022年10月

項目 (CO2換算係数)		単位	2022年 度 実績	2023年度 (目標)	2024年度 (目標)	2025年度 (目標)
二酸化炭素の削減	総量	kg-CO2	5,635	5,579	5522	5466
	基準年度比	%	-	-1%	-2%	-3%
電力の削減 (0.540)	総量	kWh	8,450	8,366	8281	8197
	基準年度比	%	-	-1%	-2%	-3%
ガソリンの削減 (2.32)	総量	L	444	440	435	431
	基準年度比	%	-	-1%	-2%	-3%
水使用量の削減	総量	m ³	103	103	103	103
	基準年度比	%	-	±0	±0	±0
グリーン購入量の増加	総量	品目	13	13	13	13
	基準年度比	品目	-	±0	±0	±0
一般廃棄物の削減	総量	kg	189	189	189	187
	基準年度比	%	-	±0	±0	-1%
レアメタル残材の有 価物化	総量	件	19	20	21	22
	基準年度比	件	-	+1	+2	+3

備考1: 電力の二酸化炭素調整後排出係数は、出光興産22年度実績の0.540kg-CO2/kWhを使用した
 (中期目標期間は固定する)

備考2: 部品・材料における環境管理物質 管理規定としてSS-00259 最新版に準じる。

備考3: 都市ガスの使用は少量のため削減項目には取り上げていない

備考4: 二酸化炭素削減の総量には都市ガスを含む

備考5: 次年度の中間環境目標は2025年度の実績をもとに作成

日本インベスト株式会社

6. 主な環境活動計画の内容

環境目標	環境活動計画書(主要活動項目)	担当者
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの設定温度28℃,22℃、サーキュレーターの併用。 ・不要照明の消灯 ・設備の空運転防止 ・残業時間の短縮による使用時間減 ・パソコン、プリンター等の不使用時の電源OFF 	阿部
ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ励行(アイドリングストップ、緩加減速、空気圧等) ・近隣への公共機関使用 ・冷暖房利用の削減 	村井
水道使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・水道メーター内の元栓をなるべく閉める ・手元ストップノズルでこまめなON/OFF ・トイレ使用時に複数回、水を使わない。 	鈴木
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用品のエコマーク品切り替え。 ・再生コピー紙切り替え ・コピー機再生カートリッジ使用 	阿部
一般廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> ・紙類のリユースを行う(分別の徹底)。 ・両面、縮小印刷等で書類削減。 ・段ボール、パッキン等の再利用 ・マイカップ、マイボトルの使用 ・交換型修正テープの使用 ・紙留めタイプのホッチキスの使用 ・配送用通い箱の使用 	鈴木
レアメタル残材の有価物化	<ul style="list-style-type: none"> ・残材を利用した商品提供 ・在庫管理の徹底 	村井

7.環境目標と実績及び取組結果とその評価

○2023年10月～2024年9月の1年間の活動結果は、下記の通りである。

項目	単位	目標値	実績値	達成率	活動計画の取組結果とその評価
二酸化炭素 排出量	kg- CO2	4696	4615	102% ○	目標達成。電源のON,OFF & エコドライブをこまめに行いCO2排出量を少なくなるよう管理していく。
電力	kWh	8132	7818	104% ○	目標達成。各場所の電源管理を社内で意識して行った。また、事務所電灯のLED化を行い消費電力がより減った。引き続き電源管理を周知徹底していく。
ガソリン	L	378	512	73% ×	目標未達成。昨年と比較し、納品・面談による車の使用回数が増加したため達成率が低下したが、引き続きエコドライブ意識し目標達成に繋げる。
水道水	m ³	76	75	101% ○	目標達成。こまめなON、OFFを意識して行き洗浄時はなるべく使用量を調整し抑える。
グリーン 購入	品目	20	20	100% ○	目標達成。コピー用紙は再生紙使用。又、裏紙も積極的に使用すること。ホチキスはなるべく針なしを使用し、消火器はリサイクル品を使用。以上を今後更に徹底する。
一般 廃棄物	kg	176	212	83% ×	目標未達成。普段からの整理、コピー用紙の裏紙使用や緩衝材の再利用を更に徹底する。
レアメタル 残材の 有価物化	件	20	11	55% ×	目標未達成。残材の管理を徹底し、幅広いニーズに提案と対応をさらにできるようにする。

※電力の二酸化炭素調整後排出係数は、出光興産22年度実績の0.540kg-CO2/kWhを使用。

【次年度の取組】

2025年度は2024年度での達成率が低い廃棄物量、ガソリン使用量を削減するため個々人が意識を持ち目標値を達成するよう取り組む。緩衝材の再利用、裏紙の使用等社内で可能なリユースを積極的に行い廃棄物量の減少を目指す。ガソリン使用量についても、エコドライブ・空気圧チェックし、近隣での使用をなるべく避け、自転車、徒歩、公共交通機関の利用を徹底し、削減を目指す。

日本インベスト株式会社

8.環境関連法規等取りまとめ表兼遵守点検表

遵守評価日 : 2024年10月7日

最新見直し日 : 2024年10月7日

環境関連法規等名称	法令条項	法規制等要求事項 当社適用 遵守事項	当社 該否	当社適用 順守事項	遵守 評価
廃棄物 処理法	・事業系一般廃棄物の減量 ・事業系一般ごみ及び 一般廃棄物及び(有料ごみ処理券を添付)	事業系及び産業廃棄物の適正処理	○	処理業者に適切に 依頼している (有料ゴミ処理券添付)	○
東京都環境 確保条例 (東京都廃棄物 条例)	・再利用可能な物の分別の徹底 ・再利用を活用し、事業系廃棄物を減量する				
大田区一般 廃棄物処理 基本計画	第25条 事業者は、その事業系廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに自ら運搬し、若しくは処分し、又は廃棄物の収集若しくは運搬若しくは処分を業として行うことのできる者に運搬させ、若しくは処分させなければならない。	25 条 処理業者に適切に依頼する	○	処理業者に適切に 依頼している (一般廃棄物・ 有料ゴミ処理権付) (産業廃棄物・ 処理業者に依頼)	○
自動車 リサイクル法	自動車所有者は新機購入時にリサイクル料金の支払いを現在使用中の場合最初の車検までに支払う	廃棄時、車検時にリサイクル料金を支払う	○	料金支払っている	○
家電 リサイクル法	特定家庭用機器の廃棄物の再商品化等が確実に実施されるように小売業者等に適切に引き渡し料金の支払い	料金支払いと管理票を受け取り3年間保管	○	廃棄器なし	-
グリーン購入	国等による環境物品等の調達等の推進等に関する法律官公庁が対象	5 事業者及び国民は、できる限り環境物品等を選択するよう努めるものとする。	△	①環境に優しい 原材料の利用 ②エコ商品選択購入	○
フロン排出 抑制法	1.特定製品の使用等をする場合は、使用されるフロン類の管理の適正化に努める。 国及び地方自治体のフロン類の適正化に関する施策に協力する 2.すべての第一特定製品については専門知識を有する者によって定期点検を実施する。 ①管理者を決める ②■7.5kw未満(簡易点検)・点検の実施(四半期毎)。 ・点検スケジュール表の作成、点検実施、記録、保管。 3.特定製品の廃棄の際は点検表等を廃棄の日付	1.協力する 2.定期点検の実施と記録	○	点検している	○

上記関連法規は遵守しました。また、関係当局からの違反指摘は、過去3年間ありません。

日本インベスト株式会社

9.代表者による見直し

報告日：2024年10月25日 代表取締役社長 中川 悦子

	見直し項目	社長指示事項
1	環境目標	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様に一般廃棄物が目標未達成となり、また今期は更にガソリンとレアメタル残材の有価物化に付いても目標未達成となっている。要因としては、目標の設定方法に無理が生じてきている可能性が高く、次年度以降は環境目標の見直しが必要不可欠となってきた。 ・日頃より整理整頓を心掛け、グリーン調達を推進しリサイクル・リユースに引き続き力を入れていく。
2	環境関連法規	引き続き関連法規の改正動向を注視して、法規制を遵守する。
3	監査での指摘事項	<p>①業務用エアコンの簡易点検等記録の保管は、製品廃棄後3年間保存しておく義務があります。環境関連法規等とりまとめ表に追記してください。 →対応しました。</p> <p>②エアコン簡易点検チェックシートにも同様に追記すると管理が確実になります。また、簡易点検シートに対象製品3台の型式を明記することを推奨します。提案事項として:事務所内は火の元は見当たりませんでした。漏電火災のリスクを想定した場合、事務所の消火器の設置をご検討ください。 →型番を記載しました。消化スプレーを事務所に設置しました。</p>
4	利害関係者からの情報	<p>グリーン調達の推進。</p> <p>環境及び品質面に於いても、ユーザーからの情報を随時受け入れ今後の企業活動に活用していく。</p>
5	EMSの見直し変更の必要性について	<p>環境経営方針の変更はしない。</p> <p>但し、環境目標値に付いては各項目毎に確認しながら、必要に応じて見直しを図っていく。</p>

日本インベスト株式会社

10.SDG s への取り組み

○SDGsとは

持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)とは2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

○SDGsへの貢献に向けた組織としての方針

弊社は「人と環境にクリーンで安全なものづくり」を環境方針とし、地球環境の保全に努め、次の世代に豊かな地球を引き継ぐことを目指しています。また、日々の企業活動において各種の環境負荷を発生させないように配慮するとともに、地球環境問題の改善に役立つ製品、サービスの販売を促進しています。

○SDGsへの取り組み

弊社は17のゴールを受け、次の7つの開発目標を捧げます。



当社は「かわさきSDGsゴールドパートナー」の認証を受けております。



かわさきSDGsパートナーとは

「誰一人取り残さない」持続可能な未来を目指してSDGsの達成に向けて取り組む企業・団体の皆様を川崎市が登録・認証する制度です。